



発行/伊勢原市 編集/広報戦略課  
〒259-1188 伊勢原市田中348番地  
☎0463-94-4711(代)  
FAX 0463-93-2689



伊勢原市  
「いせはら 暮らし安心メール」の  
配信登録や閲覧は、市ホームページから

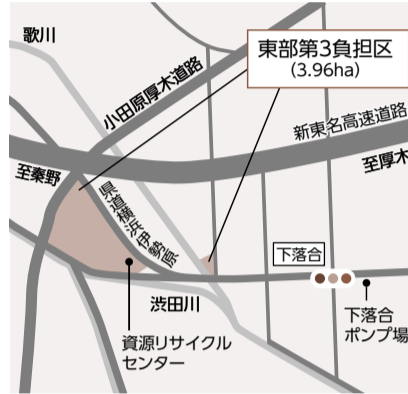


伊勢原市は令和3年3月1日に  
市制施行50周年を迎えました

人口と世帯 ●人口101,634(-106) ●世帯数46,053(+6) 3月1日現在( )は前月比 ※平成27年国勢調査を基にした推計人口 発行部数/38,700部

## 東部第3負担区 公共下水道の受益者の 単位負担金額が決定

受益者負担金は、公共下水道が整備される区域内の土地の所有者や権利者、家屋の所有者などに、土地の面積に応じて建設費の一部を負担いただく制度で、単位負担金額は市下水道運営審議会の答申を受けて決定しています。



今回対象となるのは地図で示した区域です。受益者負担金や工事内容などの詳細については、工事区域ごとに関係者への事前説明を行います。受益者負担金に関する通知などは工事終了後、公共下水道に接続できる段階で送付します。

- 単位負担金額 325円/㎡
- 負担区域 下糟屋・見附島地区の各一部(3.96ha)
- 算定方法 土地の面積(㎡)×単位負担金額
- ☎下水道経営課(アクアクリーンセンター内)☎92-3031

## 市民農園の利用者を募集します

アグリパーク伊勢原「八幡谷戸ふれあいガーデン」の、4月から1年間の利用者を募集します。休憩室やトイレを備えた管理棟や駐車場があり水道や農具も無料で利用できますので、手ぶらで気軽に来園できます。豊かな自然の中で、楽しく野菜づく

りをしませんか。  
募集区画 15区画(1区画30㎡)  
利用料金 年2万1000円  
申し込み 電話で問い合わせ先にお申し込みください  
☎アグリメディア☎0120-831-296  
☎農業振興課☎94-4648

## クルリンのイラスト使用は申請が必要です

クルリンのイラストや写真を使用する場合は市への申請が必要です。市役所4階の担当で配布する申請書に、デザイン案を添えてご提出ください。申請書は市ホームページ「伊勢原市公式イメージキャラクタークルリン」→「デザイン使用について」からも入手できます。申請後、承認

通知書を発行します。詳しくは担当にお問い合わせください。  
継続使用について  
使用期間は最長で、承認日から2年後の最初の3月31日までです。使用期間が満了し、継続を希望する場合は再度、申請書をご提出ください。  
☎広報戦略課☎94-4864

## 令和3年度 いせはら健康家族カレンダーを配布

乳幼児健診・各種健(検)診の日程や事業の案内などを掲載した「いせはら健康家族カレンダー」を作成しました。3月25日(木)に新聞折り込みで配布します。

同日から市役所、各公民館などの公共施設でも配布するほか、市ホームページ「健康・福祉」→「健康・予防」からも入手・閲覧できます。  
☎健康づくり課☎94-4609

## 狂犬病の予防注射を受けましょう

狂犬病は、ウイルスを保有する動物にかまれたり引っかけられたりすることで感染し、発病するとほぼ100%死に至ります。世界では毎年5万人以上が亡くなっており、国内でも昨年5月に愛知県で15年ぶりとなる発症者が確認されました。

犬の登録と毎年1回(4~6月)の狂犬病予防注射が法律で義務付けられています。なお、令和3年度の定期集合注射は行いませんので、各動物病院での接種をお願いします。費用など詳しくは、病院にお問い合わせください。  
☎健康づくり課☎94-4609

生後91日以上以上の犬の飼い主には、

### 猫もマナーを守って飼いましょう

◇屋外には、けがや伝染病の感染といった命に関わる危険がたくさんあります。屋内で飼いましょう  
◇飼い主のいない猫に餌を与えると、その場に居つき、鳴き声やふん尿で近所に迷惑をかけます。与えるのであれば、責任をもって飼いましょう

◇全国で毎年約3万頭が殺処分されています。不幸な命を増やさなために、去勢・不妊手術をしましょう  
◇マナーを守らない人がいたら、問い合わせ先にご相談ください  
☎平塚保健福祉事務所秦野センター環境衛生課☎82-1428

## 4月から 容器包装プラスチックの 収集者が変わります

4月から、容器包装プラスチックの収集は民間事業者が行います。収集時間が変わる場合がありますが、これまでと同様、収集日当日の午前

8時30分までに決められた収集場所へ出すようにお願いします。なお、収集日に変更はありません。  
☎環境美化センター☎94-7502

市制施行 50周年記念 アーカイブ シリーズ 新聞記事で振り返る

# あの日、あの時

### 第4回「郡市対抗駅伝(現かながわ駅伝)で過去最高の4位入賞」

今回紹介するのは市として初出場し、好成績を収めた郡市対抗駅伝について掲載された、昭和47(1972)年2月14日の記事です。

### 川崎、圧倒の連勝 伊勢原好調の4位

第二十六回郡市対抗駅伝競走大会は市制施行後初出場の伊勢原市を含めて十九チームが参加、十三日午前九時、小田原土木事務所前をスタート、相模湖漕艇場までの8区間74.5キロのコースで行なわれた。どんよりと曇った天候のもとでスタート、後半にはいり小雪に見舞われるあいにくのコンディションとなったが、八選手中七人までを青森~東京駅伝のメンバーで編成する川崎がやはり強く5区から独走、コースが三百メートル短縮されたとはいえ前年のタイムを3分以上も縮める好記録で、二年連続十度目の優勝を飾った。また2位は藤沢、3位に横浜がはいり、4位には初参加ながら好選手をそろえた伊勢原が入賞した。(後略)[神奈川新聞]



提供 神奈川新聞社 ※当時の紙面記事をそのまま使用(一部記事省略)

### わがまちの誇りを胸に、早春の神奈川を駆け抜ける

昨年で74回目を迎えたこの大会の始まりは、昭和22(1947)年5月4日。前日に施行された日本国憲法を記念して「新憲法施行記念都市訪問 郡市対抗駅伝」の名称で開催され、第50回から現在の名称になりました。近年は、秦野市カルチャーパーク陸上競技場から県立相模湖公園までの51.5kmのコース(7区間)で、県内30市町の代表選手がたすきをつなぎます。

伊勢原市は大会を後援しているほか、白根中継所では地元自治会によるおもてなしが行われます。また国道246号沿道では、力走する選手たちに大きな声援や拍手が送られています。

◇次回は「県立伊勢原射撃場が完成」を紹介します